

職員・里親様 (11月6日)

さいたま 児童養護施設などで暮らす中学生 子どもキャンプ参加者 募集中 今年度初開催、毎年開催予定

2024年2月23日(金・祝)～25日(日) 2泊3日
会場：埼玉県立「長瀬げんきプラザ」(写真上)
内容：体育館ゲーム大会、野外BBQ、おやつ・おしゃべりタイム
キャンドルファイヤー、長瀬観光など



みんなで仲良く、楽しい3日間を
過ごそう！



テントじゃなくて
男女別の
お部屋で寝るよ。

体育館でバスケ、ドッジボール、
部屋ではトランプや人狼、いっぱい遊ぼう！



タモリもやってきた長瀬「岩畳」

施設職員・里親のみなさま

児童養護施設などで生活する中学生を対象にした2泊3日のキャンプを開催します。中学生同士の交流やゲーム大会、長瀬観光など楽しい3日間を企画しています。長年遺児の交流キャンプを開催してきましたが、今年度はじめて施設などで暮らす子どものキャンプを開催し今後毎年継続していく予定です。

キャンプのリーダーの多くは施設で生活の経験のある18歳～25歳の若者たちです。

入所中の児童に向き合う研修を受けてもらっています。専門家ではありませんが、生き立ちの大変さという共通の背景があります。遊びやおしゃべりを通じて心を通わせることができると考えています。また施設の職員の方の付き添いも可能です。職員の方同士の交流の機会ともなると考えますので、ぜひお役立てください。

児童養護施設などで暮らす中学生 さいたま子どもキャンプ実施要項

児童養護施設などで生活する中学生を対象にした2泊3日のキャンプを開催します。同じような境遇の中学生同士が市町村を超えて交流し、新しい発見と心の居場所を作ることを目的にしています。キャンプのリーダーは施設出身者の青年たちが中心になり、中学生たちの心のケアを担当します。施設出身のお兄さんお姉さんに将来の相談や、心を開いて悩みなどを打ち明けてほしいです。また施設の職員の方の付き添いも可能です。職員の方同士の交流にもお役立てください。

□プログラム 1日目:開会式、野外BBQ 2日目:体育館ゲーム大会、おやつ・おしゃべりタイム、キャンドルファイヤー、3日目:長瀬観光など(天候などによりプログラムの変更があります)

□募集

埼玉県内の児童養護施設など社会的養護のもとで生活する中学生30人
施設職員など付き添い15人

※定員を超えた場合は次回の参加をお願いする場合があります。

□会場

埼玉県立長瀬げんきプラザ(埼玉県秩父郡長瀬町井戸367)

□日時

集合:2月23日(金・祝) 13:45 JR熊谷駅もしくは、15時 野上駅

解散:2月25日(日) 13:00 長瀬げんきプラザ

□参加費

無料。施設・自宅から現地までの電車代(県内)も補助します。

□応募方法

メールにて題名に「子どもキャンプ申し込み」、
本文に①お名前、②学年、③性別、④担当職員もしくは保護者様のお名前、⑤電話番号、⑥メール、⑦その他ご相談など

※複数の中学生の参加の場合①~③を人数分お書きください。

送付先メール「camp.yougo@gmail.com」

※ご関心のある方、お気軽にお問い合わせください。



申し込みメール
QRコード



会場「長瀬げんきプラザ」の最寄駅秩父鉄道「野上駅」

□申込締切 2023年11月30日

※申し込み後に詳細な内容をご案内いたします。

□主催

埼玉県社会的養護を考える会
一般社団法人コンパスナビ

□後援 埼玉県

□協力 三幸学園大宮こども専門学校

□連絡先

キャンプ事務局・八木
TEL080-6001-8880

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」



本事業は国立青少年育成機構「子どもゆめ基金」、埼玉県社協「ひまわり基金」の助成活動です。

みなさまのご参加をお待ちしております
<https://sites.google.com/view/Saitama-yougo/>

虐待など「負の連鎖」なくしたい

多士彩

虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する「さいたま子どもキャンプ」を主催する「埼玉県社会的養護を考える会」代表の橋本圭介さん(59)が、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。多士彩は、虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。多士彩は、虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。

「埼玉県社会的養護を考える会」代表 橋本圭介さん(59)

虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。多士彩は、虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。

虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。多士彩は、虐待を理由に児童養護施設で暮らす中学生を支援する活動で、虐待をなくしたいという思いを込めて、多士彩という活動を始めた。

未来つなぐ支援目指して